

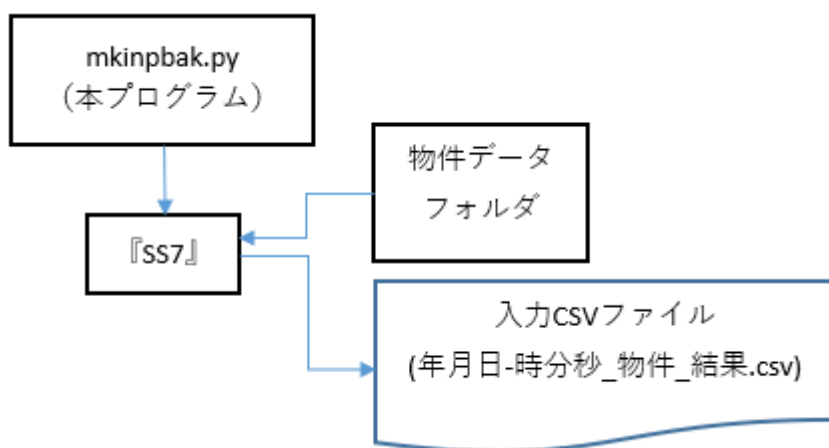
# 入力CSVファイルによる入力データのバックアップ

## 本プログラムの説明

『SS7』の入力CSVファイルを作成する事例を示します。

入力データのバックアップとして使えるように、現在時刻、物件データフォルダ名、結果セット名を含んだファイル名で保存します。

## 処理の流れ



## 本プログラムの実行方法

```
python mkinpbak.py {PATH} {N[,N]...} [OUTPUT]
```

オプション	説明
{ }	必須
[ ]	省略可能
PATH	物件データフォルダのフルパス名
N	結果セット番号 1～5 「,」区切りで複数指定可能 0で1～5すべて指定とする（優先的に採用）
OUTPUT	入力CSVファイルの出力先フォルダ（省略時:PATHと同じ）

## 作成する入力CSVファイルの名前

YYMMDD-HHMMSS-物件データフォルダ名-結果#.csv

## 例

```
cd /d C:\example\src
python mkinpbak.py "example.ikn" 1,3 "Other"
```

物件データ	結果セット	出力先
"example.ikn"	結果1, 結果3	"Other"

出力ファイル名（2023年1月1日 6時30分30秒 に実行）

230101-063030-example-結果1.csv

230101-063030-example-結果3.csv

## 注意事項

- 『SS7』Ver.1.1.1.19を前提としています。別のバージョンに変更するには、mkinpbak.py のコメント「# SS7のバージョン」の行で "1.1.1.19" を変更してください。
- 旧バージョンの物件データを自動的にデータ変換しません。  
（理由：バックアップが目的のため）
- 出力するファイル名が重複している場合、ファイル名の末尾に「(連番)」を付けます。
- このプログラムを実行したときの日時と時刻がファイル名になります。

## 『Op.Python実行』の設定手順

Ss7Pythonライブラリを使用するための設定手順です。

- 『SS7』を起動し、[ツール - 環境設定 - Op.Python実行]画面を表示します。
- “利用可能なPython言語のバージョン”を選択し、[デスクトップへコピー]ボタンをクリックします。
- デスクトップにある「Python」フォルダごと、「src」フォルダにコピーします。

## 必要な外部ライブラリ

外部ライブラリは不要です。

## 著作者

Copyright (C) 2024 UNION SYSTEM Inc.

## ライセンス

本プログラムは MIT License に基づいています。「LICENSE」を確認してください。